

校名の決定までの経緯について

1. 校名決定についての基本的な流れ

新設となる義務教育学校の校名は、「西宮浜小中一貫校設置準備委員会」（以下、設置準備委員会）の作業部会である校名検討部会が原案を作成し、続いて設置準備委員会が案を絞り込み、西宮市教育委員会事務局（以下、事務局）に報告した。事務局は提案のあった校名案の妥当性を検証の後、条例改正案を教育委員会定例会に付議、教育こども常任委員会を経て、市議会本会議第2回（9月）定例会で「西宮市立学校条例」の改正が行われた。

【校名決定までの経緯】

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
第1回校名検討部会（3月6日）	公募（4月8日～23日）	第2回校名検討部会（5月13日） 第5回設置準備委員会（5月20日）	事務局での検証		教育委員会定例会（8月7日）	市議会本会議（9月18日） 教育こども常任委員会（9月12日）
選考方法・手順確認	児童生徒・地域住民（全戸配布）	3案を選定 1案を選定	最終案		付議	条例改正

2. 作業部会での審議結果 [3/6 ・ 5/13]

選定された3案 「西宮浜義務教育学校」、「西宮浜小中学校」、「西宮浜マリナ学園」

● 校名案選定の基本的な考え方

- ① 公募で得た校名案は、あくまで参考とし、多数決によらない。（公募時に周知）
- ② 小中一貫教育を実施する教育機関であることを対外的に示す校名とする。

- ③ 市内初の義務教育学校として今後のモデルとなる校名とする。
- ④ 地域の学校であることを踏まえた校名とする。
- ⑤ 小学校低学年にも分かりやすい校名とする。
- ⑥ 校名から「小学生と中学生」が通う学校であることが分かる校名とする。

● 委員から出た主な意見

- ・ 所在を表す西宮浜を入りたい。
- ・ マリナへの全市的な認知度はそれほど高くない。
- ・ マリナは公立校をイメージしにくい。
- ・ 奇抜すぎる校名は好ましくない。
- ・ 学園は私立校をイメージしてしまう。
- ・ 小中学校は小学校と中学校が合わさったもので分かりやすい。
- ・ まだ馴染みが薄い義務教育学校だが、今後は浸透していくのではないか。

● 参考「公募結果」173件

[総合順位]			[その他]
1位	西宮浜小中学校	28票	マリン浜小中一貫校、浜潮学園、さくら学園、
2位	マリナ学園	18票	マリナ桜学園、浜マリナ学園、浜風小中学校、
3位	西宮浜小中一貫校	13票	マリナパーク学園、海の光学園、令和小中学校、
4位	西宮浜学園	8票	西宮シーガル義務教育学校、マリナ協翔学園、
5位	西宮浜マリナ学園	6票	かもめ学園、桜浜義務教育学校、等々

[校名のみ抽出]			[校種のみ抽出]		
1位	西宮浜	55票	1位	学園	73票
2位	マリナ	30票	2位	小中学校	47票
3位	西宮浜マリナ	11票	3位	小中一貫校	36票
			4位	義務教育学校	5票
			5位	学園義務教育学校	2票

3. 設置準備委員会での審議結果 [5/20]

選定された1案 「西宮浜義務教育学校」

● 委員から出た主な意見

- ・ 学校が変わるのだから、新たなイメージのする学園がよい。
- ・ 学園は履歴書等を書く場合、どのような学校を卒業したのか分かりにくい。

- ・ 奇抜なものより西宮浜義務教育学校という普通の感じがよい。
- ・ 学校ではマリナと名が付く行事が多いので西宮浜マリナ学園がよい。
- ・ 新しいイメージのする西宮浜マリナ学園がよい。
- ・ 西宮型小中一貫教育を進めるなら、義務教育学校を名前に付けるのがよい。
- ・ 学園はあこがれ半分軽いイメージ半分で、もう少し畏まったものがよい。
- ・ 今は馴染みがないが、将来的な展望から義務教育学校がよい。
- ・ 公募結果では西宮浜と学園が多いので西宮浜マリナ学園がよい。

4. 事務局による検討案

学校名：西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校

ニシノミヤシリツソウゴウキョウウイクセンターフゾク ニシノミヤハマギムキョウウイクガッコウ

開校以来 20 年間、児童生徒や地域の皆さんに愛された「西宮浜」という地域の名称に、今後、全国各地で続々と設置予定の「義務教育学校」という校種名をそのまま続け、「西宮浜義務教育学校」とする。さらに、先進的な教育や研究を推進し、魅力ある学校づくりを進めるために、西宮市立総合教育センターの附属校として位置付け校名に加えた。

開校当時から、全国に先駆け「小中連携教育」や「小中一貫教育」に取り組んできた西宮型小中一貫教育のパイオニアとして、新たな時代を切り拓く、「文教住宅都市西宮」にふさわしい学校となってほしいという願いを込めた。

● 委員から出た主な意見

- ・ 西宮市は私立の学校が多いため、「学園」や「学院」とすると紛らわしくなる。
- ・ 小中一貫教育を実施する学校であることを「校種名」により明確に示す。
- ・ 「校種名」を示すことで、今後の西宮市立学校名決定のモデルとする。
- ・ 現存の西宮市学校園名と同様、「校種名」により公立校としての統一感を出す。
- ・ 長い校名となるが、児童生徒の学校名を書かなければならない場面は、日常的にさほど多くない。